

多様な性のあり方を学ぶ



01 性的マイノリティに関する基礎知識

02 今日から始められること

03 おわりに

まず、性のあり方は以下5つの要素で
成り立っていると考えることができます。

1 性自認

自分の性をどのように認識しているか/性別に関する自己認識

2 性的指向

恋愛や性愛がどのような対象に向かうか

3 性の表現

ふるまいや服装、髪型など表現する性のありよう

4 身体的性

性に関する生物学的、身体的特徴

5 戸籍上の性別

戸籍に記載されている性別（要件を満たすことで変更ができる）

性的マイノリティとは

性的マイノリティに関する基礎知識



**性的マイノリティとは、
性のあり方が、少数派の人々を広く表す総称です。**

性的マイノリティの説明として、LGBTQがよく使われます。

L

レズビアン
lesbian

：性自認が女性で、同性である女性にひかれる人

G

ゲイ
gay

：性自認が男性で、同性である男性にひかれる人

B

バイセクシュアル
bisexual

：男性・女性どちらの性にもひかれる人

T

トランスジェンダー
transgender

：出生時に割り当てられた性別と自認する性別が一致しない、または違和感がある人

Q

クィア
queer※
クエスチョニング
questioning

：主流の性自認・性的指向とは異なる人たちの総称

：自分の性自認や性的指向が定まっていない、もしくは定めていない人

※もともと「変態、奇妙」などを意味する同性愛者への侮蔑語であったものを当事者たちで肯定的な意味に変換していったという歴史があります。

世界保健機関（WHO）は1990年に同性愛を精神疾患から、2022年に性同一性障害を精神障害の分類から除外しています。

最近では、自分はLGBTQには入らないという人が増えてきて、「LGBTQ+」と表現することも多くなりました。
以下は、LGBTQ以外の性自認、性的指向の一例です。

エックス
Xジェンダー

: 男女どちらでもない、どちらとも言えない人

ノンバイナリー

: 男女二元論的な枠組みに当てはまらない人

ジェンダー・フルイド

: 性自認が確定しないで流動的に変化する人
※他者が変えることができるという意味ではありません。

アロマンティック

: 他者に恋愛的に興味関心を抱かない人

アセクシュアル

: 他者に性的に興味関心を抱かない人

パンセクシュアル

: 性的指向が性別にとらわれない人

など

ここまで、
性のあり方や性的マイノリティの説明をしてきました。

しかし、性のあり方は多様かつグラデーションで、
明確に区別・定義できるとは限らない
ということも、覚えておきましょう。

性的指向や性自認は、マイノリティだけの問題ではなく、
マジョリティを含めたすべての人の問題として
捉える必要があるということから、
近年ではSOGI（ソジ）という表現も使われるようになりました。

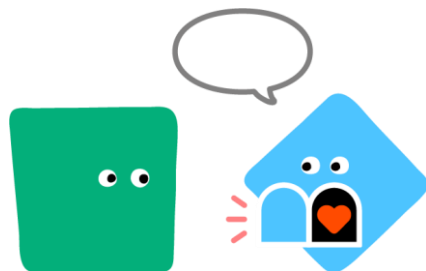
Sexual **O**rientation and **G**ender **I**dentify
(性的指向と性自認)

※LGBTQ+は多様な性的マイノリティを示すカテゴリー概念ですが、
SOGIはすべての人の性的指向と性自認、つまりすべての人の性のありようを示す概念です。

カミングアウト（またはカムアウトともいう）

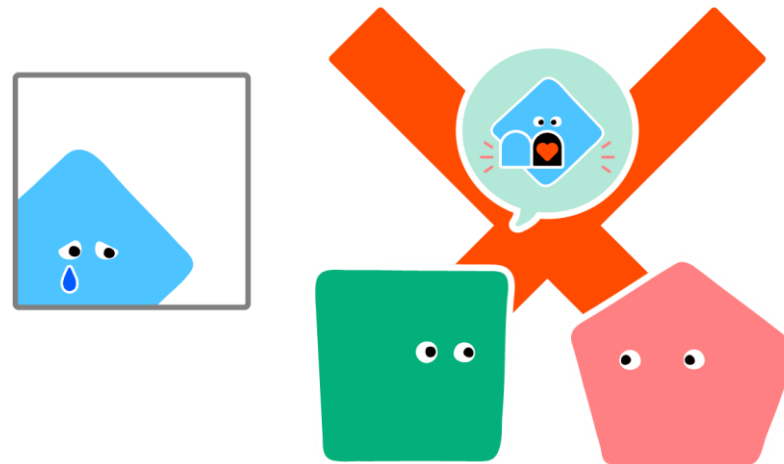
カミングアウトとは、
主には性的マイノリティが自身の性的指向や
性自認を他者に打ち明けることです。

カミングアウトをする/しない、
いつ、どのタイミングで、誰にするかは、その人の選択です。
他者がカミングアウトを強要することや、
本人がカミングアウトすることを他者が禁止することはできません。
(またカミングアウトをすることをよしとするような会話も控えましょう)



アウトティング

アウトティングとは、本人が公表していない性的指向や性自認を本人の同意なく他者に暴露することです。仮に善意だったとしても、人権侵害やハラスメントにもなり得る行為なので、絶対にやめましょう。



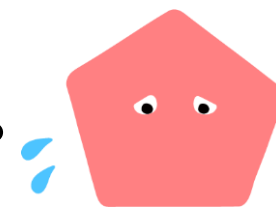
※なお、カミングアウトやアウトティングは、性的マイノリティであることだけでなく、本人が公にしていなかった出自や病状などについても当てはまります。

01 性的マイノリティに関する基礎知識

02 今日から始められること

03 おわりに

私たちの周りは、
異性愛者や戸籍上の性別に違和感がない人を前提とした
コミュニケーションに溢れています。
それに気がつき、変えていくことが求められています。



例えば、

パートナーがいるという男性/女性に対して
「彼女/彼氏はどんな人？」と聞く。

服装について、「もっと女性らしく/男性らしく」
など見た目の性別から連想される
女らしさ/男らしさを期待した発言をする。

パートナーが異性であるとは限らないため、
恋人、パートナーなどといったニュートラルな
言葉遣いを心がけるといいでしょう。

どのような性の表現をするかは本人の選択です。
また、見た目の性別と自認する性が
必ずしも一致しているとも限りません。

差別的な発言や当事者をからかったりする会話には、
便乗しないようにしましょう。

「それは差別ですよ」「その冗談は面白くないですよ」と伝えることや、
直接伝えることが難しい場合は、話題を変えたりすることもできます。

その場で止められなかった場合、後から、
本人に「大丈夫でしたか？」と声をかけることもできるでしょう。

このような言葉は、侮蔑的な意味合いを含むので、使わないようにしましょう。

「レス」「ホモ」「あっち系」「オカマ」「オナベ」

※当事者が自分たちのことを指して用いる場合はこの限りではありません。

**多様な性のあり方について、
本研修でお伝えできることは限られています。
学び続けること（書籍や映画など）、
学んだことを誰かに伝えること、
社内外の取り組みに参画することなどをしてみてください。**

01 性的マイノリティに関する基礎知識

02 今日から始められること

03 おわりに

**本資料でお伝えしてきたように、
性のあり方は多様でありグラデーションで、
誰にとっても自分ごとです。**



**しかし、社会や組織の仕組みやコミュニケーションは、
まだ多くの場合多数派を前提としているのが現状です。**

**そして、自身が多数派にいる時は、
少数派の不利な環境には気が付きにくいです。**

**無意識に少数派の人を排除してしまっていないか振り返り、
一人ひとりが尊重されているか、
お互い気づきを持ち寄り、
学び続けていくことが大切です。**

監修：藤原快瑤氏

グラデーション代表：ダイバーシティ&インクルージョン コンサルタント/
東京大学バリアフリー教育開発研究センター特任研究員

この研修を受けてくださっている方の中には、性的マイノリティ当事者にまだ直接会ったことがないという方、近い関わりの中に当事者との繋がりがある方、自分も当事者かもしれないと思われている方、そして当事者の方もいらっしゃるだろうと想像しています。

多様な性のあり方は、誰にとっても自分ごとであり、タイプ分けできないほどに多様です。

同時に、社会はまだまだ多数派の「当たり前」や「普通」に合わせて作られているが故に、「みんな違って、みんないい」と、それぞれの違いを尊重するだけでは解決しきれない不均衡と構造的な問題もはらんでいます。

本研修はジェンダーとセクシュアリティの視点からのものですが、ダイバーシティに関する他のテーマでも構造は同様で、多数派が自身の特権性とその影響力に気づくこと、そのためにオープンに他者と対話をし続けることが鍵になります。

これが組織と社会のダイバーシティ・エクイティ・インクルージョンが進むきっかけの一つとなりましたら幸いです。

監修サポート：田中かず子氏

前国際基督教大学教授
三鷹ダイバーシティセンター共同代表

【参考文献】

- 千代田区 地域振興部 国際平和・男女平等人權課, LGBTQを知るハンドブック. 〈<https://www.city.chiyoda.lg.jp/documents/18382/lgbtq-handbook.pdf>〉. (2023)
- 長崎県人權・同和对策課, 多様な性への理解と対応ハンドブック. 〈<https://www.moj.go.jp/content/001341628.pdf>〉. (2020)
- 特定非営利活動法人ReBit, 多様な性って何だろう? 〈先生用ハンドブック〉 〈https://rebitlgbt.org/kyozai/rebit_attk_2.handbook.pdf〉. (2017)
- 特定非営利活動法人東京レインボープライド 〈<https://tokyorainbowpride.com/lgbt/>〉

「多様な性のあり方を学ぶ」スライド資料（以下、「本資料」といいます）は以下の全ての事項にご同意いただける場合に限り、ご利用いただけます。

本資料記載のテキスト、イラスト、レイアウト等のコンテンツに関する一切の知的財産権は、いずれもパーソルホールディングス株式会社（以下「パーソル」といいます）又はパーソルに当該知的財産権を許諾した第三者に帰属します。

本資料（二次的著作物を含みます）を、その全部又は一部を問わず、営利目的、商業利益、私的な金銭的報酬、本資料の趣旨であるDEIの考え方に沿わない目的等のために、使用、複製、改変、配布、インターネット等へのアップロード、ダウンロード、販売等の利用をすることはできません。

本資料の利用によって発生した損害、トラブル等について、パーソルは一切の責任を負いませんので、利用者自身の責任においてご利用ください。パーソルは、本資料内容の真実性や正確性、情報の最新性、網羅性、完全性、誤解を招く表現でないこと、第三者の権利を侵害していないこと、利用目的に適合していることなどを、一切保証しません。

また、本資料内容や掲載先のパーソルのウェブサイトURLは、パーソルの事情により、予告なしに変更又は削除する場合があります。